

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立津山東高等学校		
実践者等		坪井 明憲	実践日	令和4年5月7日～
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		1年生5組・通常授業時間中		
対象生徒(学年等)		1年生5組全員		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☐ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☒ その他(コロナ禍における欠席者への対応)		
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 ・授業中に当番制で、各授業の授業ノートを書かせる。 ・係の生徒は、その授業をより真剣に聞き理解しようと努める。 ・欠席生徒はそれを確認して、授業の内容を把握できる。 ・欠席していない生徒も、他の生徒が記録した内容を見て、授業の内容の理解を深める。 ・時間が立つにつれ、クラス独自の授業データベースができる。(定期考査・模試などの前の見直しなどに活用させる) ・授業ノートはマイドライブの classroom フォルダ内に教科ごとに作成して保存し、そのクラスのクラスルームに「課題」としてリンクを配信。教科をトピックで分けて生徒が見やすいようにしている。 参考：<u>授業ノート</u>				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) ・朝の SHR で本日の分担を確認。係になった生徒は、記録をとれるよう準備、心構えをする。 (本時後) ・授業後、係の生徒が授業ノートに記入したものを確認し、不十分であれば指導し、良く出来ていればほめる。(フィードバックする) 他の生徒は授業ノートを確認し、独自の学習に活かす。				